



令和6年2月
あすなる保育園

厳しい寒さの中でも、元気いっぱいな子どもたち。しかし、低温・低湿の冬は、インフルエンザや感染性胃腸炎といわれる病気が流行する季節です。規則正しい生活を送り体調を整えておくことはもちろんですが、人混みへの外出を控えたりして、丈夫な体作り、環境作りに気を配り、寒い冬を元気に乗り切りましょう。



1月25日～31日まで、すみれ組・れんげ組・さくら組さんを対象にダウンメディアの取り組みとして元気いっぱいチャレンジカードを実施しました。今年度もチャレンジカードへのご協力ありがとうございました。

麻疹風疹予防接種(さくら組さん)がまだお済みでない方は、R6年3月31日までに接種を済ませておきましょう。3月には予防接種の在庫が少なくなるようなので、お早めにお済ませください。また、歯科検診の結果、再受診が必要であった方も、進級までに治療を済ませましょう☺

引き続きインフルエンザが流行しています

出雲圏域においてはインフルエンザ A 型の流行が見られます。今後も、患者数の増加が考えられますので、手洗いや咳エチケットの励行などにより、感染予防をしましょう。あすなる保育園でもインフルエンザ A 型でお休みのお子さんがいらっしゃいます。感染拡大防止のため手洗い、うがい、換気、加湿をしっかりと行い感染予防に努めていきたいと思ひます。

インフルエンザと診断された場合、園にお知らせください。

感染拡大防止のため、細めに検温していきたく思ひます。

マスク着用の際は、紛失防止のため名前を記入をお願いいたします。



ぬるめのお湯でゆっくりと…



熱いお湯に入るのと比べ、あがってから疲れが出にくいぬるめのお湯での入浴がおすすめです。リラックスもできて、いつもより長くお話ができるひと時にもなります。お子さんにとって、また普段は忙しいお父さん・お母さんにとっても楽しい時間になることでしょう。しっかりと温まったあとは、湯冷めに注意し、**30分～1時間後には就寝させてあげてください。**深い眠りとなり、疲労回復にも効果的です。ただし、内臓への負担をかけるため、食後すぐの入浴は避けましょう。

けいれんについて知っておきましょう!!!

○どうしておきるの？

けいれんの原因は様々ですが、急な発熱によって起こることもあれば、泣き過ぎて興奮したために起きることもあります。事故などでなんらかのケガを負ったり、脳の病気や異常が原因で起きるものもあります。中でも、最も多いのが熱によるけいれん(熱性けいれん)で、6歳くらいまでの子どもの約9%に見られると言われています。

○けいれんを起こしたら…



けいれんが起きた!

落ち着いて安静に

- ・子どもを横に寝かせる
- ・高熱のときは冷やす

時間と熱をはかり様子を見る



こんなときは病院へ

- ☑ 38℃以下の熱+けいれん
- ☑ 初めて高熱でけいれんした
- ☑ けいれんが部分的左右差がある



こんなときは救急車

- ☑ 5分以上けいれんが続く
- ☑ おさまっても意識・反応がない
- ☑ 1日に何度も繰り返す
- ☑ くちびるが紫色(チアノーゼ)

迷ったら #8000 に ☎ 電話

<ポイント>

- 子どもの顔を横向きにして寝かせる(上向きは嘔吐物が詰まり、窒息の危険があるため)
- 時間をはかる
- けいれんの状態を観察する(余裕があれば動画を撮っておき病院に持参すると良い)

<やってはダメなこと>

- 大声で名前を呼び、揺さぶる
- 口の中に布などの物を詰め込む

***けいれんは誰でも起こる可能性があります。初めての場合は必ず病院を受診しましょう。**もしけいれんが起こったら、後日、**必ず保育園にお知らせください**